

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課	
		実施期間	H14 ～	E-mail	go-nagano @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和により、令和5年の外国人延べ宿泊者数は124.5万人（1～11月）となっており、新型コロナウイルス拡大前の令和元年（2019年）同期間比87.5%まで回復している。これをさらに加速させるため、これまでの実績のある国・地域の需要を確実に獲得するとともに、観光消費額の拡大を図るため高付加価値旅行市場の開拓を引き続き行い、地域の稼ぐ力を伸ばすことにより持続可能な観光地づくりを進めていく必要がある。

2 事業目的

インバウンド本格再開の機を確実に捉え、（一社）長野県観光機構（地域連携DMO）を中心に、外国人旅行者の「滞在日数の長期化」、「消費単価の向上」、「リピーターの獲得」に繋げる、戦略的なプロモーションを実施するとともに、外国人旅行者がストレスなく、安全・安心・快適に観光を満喫できる環境整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①戦略的なプロモーションの実施

- ・高付加価値旅行市場でのプロモーションを実際の誘客につなげるため、高付加価値旅行商品の企画から造成、販売までの一貫した体制を構築
- ・海外現地でのセールスを積極的に実施して長野県の観光コンテンツをPRするとともに、コロナで途絶えた関係の再構築を図る

②インバウンド再開の機をとらえた受入環境の整備

- ・外国人旅行者がストレスなく県内を旅行できるよう「NAGANO多言語コールセンター」を運営

③訪日教育旅行の誘致

- ・県内市町村、観光協会、観光事業者等が連携し、長野県の豊かな自然や文化を活かした体験プログラムの開発・提供や、特色ある学校交流の紹介等により、国内外からの学習旅行・訪日教育旅行の誘致・受入を推進する

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度			R5年度			R6年度			達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移		
①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	万人	1.5	16.2	↗	26.4	↗		16.3			達成	国際航空運送協会(IATA)において、令和6年の世界全体の国際航空旅客数が令和元年度と同水準まで回復するとされていることから、令和元年の県内延べ宿泊者数の16.3万人（観光庁 宿泊旅行統計）を目標とする。
②	NAGANO多言語コールセンター	件	611	953	↗	1,198	↗		711			達成	国際航空運送協会(IATA)は、令和6年の世界全体の国際航空旅客数が令和元年度と同水準まで回復すると予測しているが、コールセンターの利用が多い中国と日本の間の定期便回復見通しが立たないことから大幅な利用増が見込めず、令和5年度の目標値を継続とする。
③	訪日教育旅行の受入件数	件	6	45	↗	67	↗		50			達成	R5は、学校長期休暇期間を除き週1件程度の受入を目指すため、目標を40件に設定。R6以降、毎年10件の増加を目指す。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆観光消費額	億円	2022 (R4)	6,023	2023 (R5)	8,549	2024 (R6)	10,047	2027 (R9)	9,000
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2022 (R4)	37	2023 (R5)	541	2024 (R6)	1,136	2027 (R9)	747
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆外国人延べ宿泊者数	万人泊	2022 (R4)	18	2023 (R5)	149	2024 (R6)	234	2027 (R9)	207

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	130,823	777	131,600	107,561	131,600	3.0
R5年度	0	104,677	5,000	109,677	86,596	105,554	3.0
R4年度	0	67,247	20,088	87,335	64,987	83,871	3.0

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業			部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課		

7 主な取組実績と成果

①戦略的なプロモーションの実施

- ・独・米・豪・中・タイの5カ国に現地コーディネーターを設置し、現地で旅行博への出展やセールスコール等を実施
- ・知事の米国及び台湾でのトップセールスに併せ、現地でセミナーや商談会等の観光プロモーションを実施
- ・Facebookや「小紅書（RED）」等のSNSでの情報発信や、中国やタイ等のインフルエンサーによる本県観光コンテンツのPRを実施
- ・欧米を中心に海外の旅行会社やメディア等の県内視察を支援し、県内観光コンテンツの露出機会を創出
- ・Nagano Travel Operation Center（N-toc）を設置し、県内旅行商品の企画から造成、販売までの一貫した体制を整備

②インバウンド再開の機をとらえた受入環境の整備

- ・24時間、21言語対応の「NAGANO多言語コールセンター」を運営し、通算1,198回の利用実績あり（R6.4.1～R7.3.31）

③訪日教育旅行の誘致

- ・訪日教育旅行に係る学校交流及び視察を受入れ、合計67件・1915人の受入れ実績あり
- ・県内の学校と台湾等の学校とのオンライン交流のサポートを行い、合計27校、グループとしては44組の交流を支援
- ・台湾（台北市・高雄市）での商談会に参加したほか、長野県独自の訪日教育旅行説明会・商談会を開催（長野県学習旅行誘致推進協議会と共催）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
円安等の影響もありインバウンド需要が拡大する中、欧（独）米豪にそれぞれ現地コーディネーターを設置したり、現地での観光PRイベントを開催するなど市場別に戦略的なプロモーションを行った結果、目標値以上の誘客に繋がったと考えられる。							
指標②	NAGANO多言語コールセンター	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
インバウンド需要が拡大し訪日旅行者数が増加するのに比例し、多言語コールセンターの利用件数も増加したと考えられる。							
指標③	訪日教育旅行の受入件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
台湾現地コーディネーターによる現地での営業活動や、台湾教育関係者の国内地方招請の受入れ等に取り組んだ結果、目標値を上回る学校交流及び視察の受入れに繋がったと考えられる。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・円安等の影響によりインバウンド需要が拡大したこともあり、本県の訪日外国人旅行者の延べ宿泊者数は約234万人を記録し、過去最高記録を大幅に更新した。アジアを中心とした本県実績国からの誘客には引き続き取り組みつつ、更に多くの欧米豪を中心とした高付加価値旅行者層を誘客するため、高付加価値市場に向けた取り組みを拡充していくことが課題。
- ・多言語コールセンターの利用件数は目標値を大きく上回ったが、県内観光事業者からは外国語対応が必ずしも十分には行えていないとの声が聞かれていることから、引き続き広報活動を行って同コールセンターにて多言語対応に取り組んでいくことが必要。
- ・訪日教育旅行の受入件数についても目標値を達成したものの、来訪者の若年化に対応した学校交流のマッチングや、安定的な受入れが可能な受入体制の強化が課題。

(2) 事業改善の方策

- ・高付加価値旅行者層の誘客を強化するため、長野県新規旅程商品化を目的とした高付加価値旅行取り扱いツアーオペレーターの視察を招請し、県内観光事業者とのネットワーキングの機会を創出する。
- ・県内の市町村及び観光事業者と連携し、海外からの誘客を促進する取り組みを行う。
- ・多言語コールセンターについて周知が可能なパンフレット等を制作し、県内各地で配布・設置する。
- ・訪日教育旅行のコーディネーター（義務教育担当）を新たに配置し、受入体制を強化する。

事業番号	08 02 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業			部局	観光スポーツ部 課・室
					観光誘客課

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	インバウンド誘致促進事業		51,230 千円	103,710 千円	42,201 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	アジアスノープロモーション事業	負担金	中国市場で、長期滞在が見込める上位中間層向けのFIT（海外個人旅行）パッケージを取り扱う旅行会社を招請して、滞在中にスキー以外にも楽しめる少人数や家族旅行向けのコンテンツを紹介し、商品造成を促進 負担先：（一社）長野県観光機構 旅行会社招請：8社		
2	アドベンチャーツーリズム推進事業	負担金	国際水準のガイドを育成する研修の実施と育成したガイドの情報発信を行うとともに、国内の有力なアドベンチャーツーリズムコンテンツを有する観光地の視察及び関係者との意見交換を実施 負担先：（一社）長野県観光機構 研修実施回数：3回、研修受講者数：35名		
3	インバウンド商談会事業	負担金	（一社）長野県観光機構が主催し、県内観光関係者と訪日旅行を取り扱う旅行会社との商談機会を提供 負担先：（一社）長野県観光機構 商談会参加事業者：セラー40団体、バイヤー70団体		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	高付加価値旅行市場開拓に向けたプロモーション事業		- 千円	- 千円	55,304 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	現地コーディネーター設置	負担金	高付加価値旅行市場(欧米豪)からの誘客獲得に向け、現地コーディネーターを3市場（独・米・豪）に設置 負担先：（一社）長野県観光機構 ・商談会…4回参加、商談件数129件 ・オンラインセミナー…2回開催、107名参加		
2	高付加価値旅行商品の企画から造成、販売までの一貫体制の構築	負担金	現地コーディネーター設置により整備した営業ルートを最大限活用するため、旅行商品の企画から造成、販売までを一貫して行う機能を県観光機構内に設け、本県への送客と受入体制を強化 負担先：（一社）長野県観光機構 商品造成件数：43件、販売件数：7件		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	インバウンド誘客関連団体負担金		- 千円	- 千円	8,585 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	（一社）中央日本総合観光機構負担金	負担金	中部北陸9県が連携し、インバウンドデータの収集・分析によるマーケティングを踏まえた現地商談会や情報発信等の共同事業を実施 負担先：（一社）中央日本総合観光機構 共同事業実施件数：8件		
2	（一社）関東広域観光機構負担金	負担金	SNSを活用し、サステナブルに関する観光コンテンツを発信するデジタルプロモーションを関東広域の都県と連携して実施 負担先：（一社）関東広域観光機構 SNS事業投稿件数：18件		

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	海外トップセールス事業	- 千円	- 千円	5,433 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	観光プロモーションイベント実施	委託	夏・秋季の集客拡大に向け、アドベンチャーツーリズムや体験型コンテンツのPRイベントを開催 ・商品造成件数：29件 ・商談会参加事業者数：県内事業者13団体、現地事業者46団体	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	インバウンド支援センター設置事業	12,553 千円	1,844 千円	5,652 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	国際観光情報発信員による情報発信事業	負担金	中国SNS「小紅書（RED）」やFacebookの長野県（観光機構）アカウントによる情報発信などを実施 負担先：（一社）長野県観光機構 ・小紅書…投稿件数：98件、フォロワー数：12,952人 ・「日本長野県旅遊情報」…投稿件数：27件、フォロワー数：1,352人 ・「Go Nagano」…投稿件数：57件、フォロワー数：20,897人	
2	多言語コールセンター設置事業	負担金	コミュニケーション問題解決のための「NAGANO多言語コールセンター」を運営 負担先：長野県国際観光推進協議会 通訳対応時間：24時間、通訳言語：21言語	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	学習旅行誘致推進事業	- 千円	- 千円	14,425 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育旅行の誘致・受入調整	負担金	国内外からの学習旅行・訪日旅行誘致を図るため、学習旅行誘致推進員の配置等により、誘致・受入を推進 学習旅行誘致推進員の配置数：1名	